

自由民主さくら 齋藤 寛之 会派討論

昨年度までの敬老事業予算4200万円が地区社協別基礎額20万円+世帯単価30円×自治会加入世帯数として450万円の補正予算が提出されました。

一般会計補正予算18億8,293万9千円に対し老人福祉費「おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業(敬老会事業)」に対する450万円の予算を白紙撤回する修正案が可決

自由民主さくらの意見

今回の予算内容では地域格差を生み開催が困難な地域ができる可能性があるため修正案に賛成。

計画・実行を地域に任せるのであれば、予算の使い道も高齢者が楽しみにしている飲食等も含め地域の現実的な要望に即した予算編成を求めました。



齋藤 寛之 徳永 由美子 山本 英司 石井 秀明

子ども達の未来に責任を持ち、世代を超えて温かな人の輪と笑顔で暮らせる地域社会のために4人で力をあわせて市民に寄り添う政策会派として活動して参ります。

一般会計補正予算に対するその他の意見

① 産婦健康診査事業

84.8%の受診率を更に向上させ、産後ケアとの連携を強化することで産後うつや虐待予防につなげること。

② 里親制度普及啓発事業

今までに7組の受入れがある。里親制度の普及が求められている。

③ 佐倉市スマートオフィスプレイス(コラボサクラ)

指定管理へ移行するまでに女性の使いやすさや固定利用者の獲得を高めること。オープンスペースを利用者にとって使いやすい形に柔軟に対応し、需要を増やしていくこと。

佐倉市市民協働の推進に関する条例の一部を改訂する条例の制定についての意見

「小学校区単位を基準とした地域まちづくり協議会を認証支援する制度から、隣接する2以上の自治会が自発的に設立する地域まちづくり事業実施団体を認証し当該団体が行うまちづくり事業を対象として支援する制度に改めるもの」

会計処理を担当する市民の負担が大きいため、担当職員や地域在住の職員が関わるなど、市民の負担軽減とサポートについて引き続き検討が必要である。

自由民主さくら 山本 英司 代表質問

市長の政治姿勢について

問 オール佐倉という言葉をよく使われているが、具体的な内容は。

答 市民、市議会議員、市内業者及び各種団体などの様々な方々と知恵を出し合いながら市政運営を進める。

問 自助、共助、公助による安心、安全なまちづくりについて伺う。

答 市民の皆さんへ自助、共助の重要性を「こうほう佐倉」防災特集号、防災ガイドマップ等による周知や、各地域の防災訓練等における防災講話や避難場所運営訓練などにより伝えている。

道路問題について

問 神門交差点の渋滞解消のための右折ラインの設置についての進捗状況は。

答 今年度は、交差点の佐倉方面側において、

両側の歩道約210メートルの整備を実施する。

問 国道51号線は四街道市も酒々井町も4車線になっている。佐倉市だけ2車線のままだが、4車線化の促進について伺う。

答 経済や地域の活性化、防災、減災対策など様々な観点から必要性を訴え、国や県に継続的に要望活動を行う。

庁舎の建て替えについて

問 建築後50年近くの庁舎は老朽化が進み、バリアフリーにも十分対応ができていない。今後の方針について伺う。

答 庁舎の建てかえについては、平成29年に策定した公共施設等総合管理計画においても検討の必要があるとされており、建てかえに向けての検討を開始すべき時期であると考える。

空き家バンクについて

問 農村地域の過疎化対策の一環として、新規就農者へ空き家を紹介するという佐倉市の取り組みは私も評価しているところですが、耕作放棄地の減少や農家人口を減らさないためにも空き家バンク制度は有効だと思います。もっとこの制度を利用してもらうためにも企業誘致助成金の制度のように、農村地域の空き家を買って転入して来る家族などには、固定資産税等を減免する制度はできないか。

答 税負担の公平性などの課題もあるので、慎重に研究していく。



自由民主さくら 徳永由美子 一般質問

市長の政治姿勢について

子どもの権利条例の制定について

問 子どもの権利条例制定を推進していただきたいが、どのような条例を目指しているのか。

答 子ども達が育つ喜びを感じることができる社会の実現を目指し制定を考えていく。

若者参画について

問 審議会等への若年卒の設定についてどのように進めていくのか。

答 若年層の参画に必要な条件等を把握するための情報収集と募集方法を研究していく。

観光と農産業における課題について

問 無農薬野菜の給食食材への導入について、現状と課題は。

答 南志津小へ月2回供給。必要な量を供給できる生産者の調整が難しい。

意見 特に大規模校は供給面での課題があるが、新規就農者のやりがいにもつながる。子ども達の食の安全に努めて欲しい。

問 IT関連起業やサテライトオフィスの誘致について。

答 コラボサクラも受け皿として活用を促進していく。

意見 通勤時間を短縮し、育児や介護と仕事の両立や昼間人口の増加にも繋がるため幅広い企業誘致を求める。

通学路の安全確保について

問 井野地先、京成線勝田台第4号踏切の安全対策の進捗状況について。

答 電柱幕や通学路児童注意の路面標示と路肩部分のカラー塗装を実施。

意見 児童の保護者と効果を検証すべき。グリーンベルトに沿った横断歩道の移設は必ず実現して欲しい。

特別支援教育について

問 医療的ケア児の協議体の設置と支援策について。

答 医療的ケア児等に特化した作業部会の設置を検討。レスパイトを含めた家族への支援も検討していく。



自由民主さくら 石井秀明 一般質問

市長の市政運営について

問 新体制になった、佐倉市議会のトップとしての意気込みを伺う。

答 市民・議員・職員との対話を通じて心をつなげ、絆を結び、「オール佐倉」で佐倉市を未来に希望が持てる、魅力あるまちづくりに変えてきたいと考えている。

災害時の防災体制について

問 災害時の高齢者・障がい者などの、要支援者の孤立防止策を伺う。

答 避難行動要支援者名簿を作成し、民生委員、自治会、町内会、自主防災組織など、地域において避難支援を担う関係者に提供している。有事の際はその名簿を元に、警察・消防・その他避難支援を担う方々と連携を図り、避難支援を行っていく。

自治会活動の活性化について

問 災害時の際も、大変重要な役割を担う自治組織の維持、活性化の取り組みについて伺う。

答 役員向けマニュアル等の配布や、運営に関わる相談や要望など、日常的な支援に加え、こほう佐倉や市役所本庁舎での自治会加入のPR など新たな取り組みも行っていく。

若者世代の社会参画について

問 若者世代の社会参画の促進と、その世代の意欲を引き出す政策について伺う。

答 今後も青少年育成に関わる団体への更なるPRと、その活動の支援を促進していく。

農業問題について

問 農業の効率化や、後継者問題の解決に不可欠となる、ほ場の整備についての方針を伺う。

答 地域でどのような農地を、誰と、幾らで耕作していくのかを話し、国・県・市の補助を通じて、ほ場を整備する「農地中間管理機構関連農地設備事業」の活用を検討している。



自由民主さくら会派の視察

千葉市SNSを活用した中高生のためのLINE相談窓口

7月16日に千葉市役所の教育委員会にて、昨年度モデル事業として取り組まれたSNSを活用した中高生のためのLINE相談窓口について現状をお伺いしました。

電話での24時間相談窓口はよくありますが、子どもが直接電話をかけるには敷居が高く、今は当たり前に使われているLINEを使って子ども自身が気軽に相談できるツールとして、その有効性は非常に高いと感じます。

中学1年生の相談が多いようで、小学校高学年でも相談が多く寄せられる予想がある中ですが、小学生高学年への導入はスマホの推奨に繋がってしまうことになり難しいようです。

夏休み明けに多いと言われる子ども自身の不登校、何より自死行為から救うために機能することを願い、佐倉市でも導入を求めています。



成田市青少年劇場・折鶴平和使節団派遣事業

7月18日に、成田市の青少年劇場事業と広島長崎への中学生折鶴派遣事業について視察に伺いました。成田市は小学5～6年生を対象に年に1度国際文化会館の大ホールで迫力のある演劇公演が無料で観られる取り組みを行っています。

中学校は全11校へ巡回公演。佐倉市は各学校のPTAが主催しており、全ての学校で舞台芸術公演が実施されているわけではなく、削減されてきた文化活動はやっぱり全ての子ども達に保証すべきだと感じました。

中学2年生を対象とした折鶴派遣は、事前勉強会から報告会までのカリキュラムを通して平和啓発活動を行い、次世代へ平和の大切さを繋げているとの事です。広島長崎と現地に派遣された生徒の意識の醸成と高揚に一定の成果があることから、事業継続の必要があると感じました。



皆様のお声を自由民主さくらにお寄せください

山本 英司

- 自由民主党 佐倉支部幹事長
- 自由民主さくら 代表



佐倉市議会議員 2期
建設常任委員会副委員長
議会改革推進委員会委員
佐倉市・酒々井町清掃組合委員

佐倉市内田42
TEL : 043-498-1120
FAX : 043-498-2806
E-mail:gpppppp69@catv296.ne.jp

徳永 由美子

ホームページ



佐倉市議会議員 2期
経済環境常任委員会副委員長
議会運営委員会副委員長
印旛衛生管理組合議長

佐倉市上志津1192-11
携帯 : 090-3599-1771
FAX : 043-463-6865
E-mail:murasakimidori@catv296.ne.jp

石井 秀明

ホームページ



佐倉市議会議員 1期
総務常任委員会委員
議会改革推進委員会委員
佐倉市都市計画審議会委員

佐倉市太田1710-2
携帯 : 090-2222-4335
FAX : 043-484-4657
E-mail:h_ishii_sakura@yahoo.co.jp

齋藤 寛之

ホームページ



佐倉市議会議員 1期
文教福祉常任委員会委員
広報公聴委員会委員

佐倉市西コーカリが丘7-5-8
TEL : 043-377-4883
FAX : 043-377-4883
E-mail:saitohiroyuki1977@gmail.com